

はなえくぼ扶桑便り No.62

令和8年7月1日 発行
(株) ニーノコーポレーション
扶桑町大字齊藤字緑223
(0587) 93-7833

『雨の季節です』

いよいよ梅雨も本番です。室内で過ごすことが増えています。はなえくぼ扶桑で、全員参加できるレクの定番は「お手玉崩し」です。真ん中に立てた割り箸を倒した人が罰ゲームで動物の鳴きまねをしたり、歌を歌ったり・・・ハラハラドキドキはしますが、激しい刺激はないためはなえくぼ扶桑の利用者さんたちに人気のゲームです。

YouTube動画を見ながらリズム体操にも一生懸命取り組まれています。夏の歌に合わせたリズム体操では、「カモメの水兵さん」が動きがかわいらしくて楽しいです。



『父の日&お誕生日』

6月第3日曜日は父の日です。母の日と比べると影の薄い父の日ですが、はなえくぼ扶桑ではケーキでお祝いしました。当日に体調を崩しておられたため、お祝いできなかったお誕生日も、一緒にお祝いすることができました。



『ご夫婦でお散歩』

一時期体調を崩され、ご自身の歩行だけで精いっぱいだったご主人が、再び奥様の車いすを押してお散歩に出かけられるようになりました。

ご夫婦での施設暮らしは、いろいろ難しいこともあり、ご家族にもご協力をお願いすることが多くなりますが、こんなご夫婦の姿を見せていただくとほっこりします。



はなえくぼ便りを見て、たくさんの方からタオルが届いています。タオル以外にも「これ使えますか？」とお声をかけていただいたり、町で「ごくろうさま！」と声をかけていただくと、はなえくぼにお心を寄せていただいています。いつもありがとうございます。



6月から、ベトナム人のアンさんが、はなえくぼ扶桑に入職しました。言葉の壁を乗り越え、初めての介護業務に懸命に取り組んでいます。他の職員と同様に、あたたかい応援をよろしくお願いいたします。

お料理が趣味というアンさん。今は慣れない日本食作りを頑張っています。少し余裕が出てきたら、得意のベトナム料理をふるまってもらいたいと楽しみにしています。

『気持ちに寄り添う対応を』

認知症のある方が、歩き回る、何度も同じことを尋ねる、帰りたいと言う、怒ったように見えるなど、「落ち着かない」様子を見ることがあります。その姿を見たとき、周りの人は「困った行動だ」「何とか止めなければ」と焦ったり、不安になったりすることがあります。しかし、その行動だけを見て、その人自身を判断してしまうと、大切なものを見落としてしまうかもしれません。「落ち着かない」状態は、その方のすべてではありません。その方の中に一時的に現れている、不安や寂しさ、戸惑い、苦しみの表現の一つです。

例えば、何度も「家に帰る」と言われる方は、「帰ること」にこだわっているのではなく、「自分の居場所が分からない」「安心できる場所を求めている」という気持ちを抱えているのかもしれません。大切なのは、行動をなくすことだけを目的にするのではなく、「この方は今、何を感じているのだろう」と、その人の内側に目を向けることです。

そして、同時にその方に関わるあなたが、自分自身の「どうしよう」「大変だ」「なんとかしなきゃ」という焦りや苦しみに気づいてあげましょう。その感情は、相手を大切に思っているからこそ生まれるものです。「私は今、焦っているな」「大変だと感じているな」と気づき、自分のその気持ちにやさしく寄り添うことで、目の前の人を観察する心の余裕が生まれます。まずは、ケアする人が自分自身に優しさを向けること。そのことが、認知症のある方の「その人らしさ」を支える優しいケアにつながります。

使わなくなったタオルがあればご寄付をお願いします。

次回は、はなえくぼひくみ便りです。どうぞお楽しみに！



グループホームはなえくぼ扶桑
丹羽郡扶桑町大字柏森字辻田398
(0587) 91-0110
グループホームはなえくぼひくみ
犬山市大字五郎丸字郷瀬川17番地1
(0568) 68-8096

グループホームはなえくぼ江南
江南市小机町長者毛西132番地
(0587) 52-3808
はなえくぼのホームページ
www.gh-hanaekubo.com
ブログも時々更新しています